

Global Strategy Com Meeting #8

Date: 2015 August 18, Tuesday 10:00-12:30

Room: Gakkai Center Building, 4F Meeting Room, 2-4-16 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo

Attendee:

Global Strategy Committee members: Gaku Kimura (Chair), Simon Wallis (Vice Chair), Kensei Kobayashi, Hiroe Miyake, Yasuhiro Murayama, Eiji Ohtani (Skype), Sho Sasaki (Skype), Kiyoshi Suyehiro, Fumiko Tajima (Skype)

President: Toshitaka Tsuda (Skype)

JpGU Office: Yozo Hamano, Kayoko Shirai, Maiko Amano

Regrets:

Global Strategy Committee members: Masaki Fujimoto, Toshiyuki Hibiya, Yukio Himiyama, Teruyuki Kato, Teruyuki Nakajima, Hisashi Nakamura, Kanako Seki, Shogo Tachibana, Ryuji Tada, Yukihiro Takahashi,

Vice Presidents: Hodaka Kawahata, Masato Nakamura

Meeting summary: ACTION ITEMS 案

1. JpGU International Symposium の特別枠は使用せず、ひとつのプログラム編成として実施することを理事会に提案する（継続審議）
2. JpGU Meeting のサブタイトル国際向けキャッチフレーズを8月中に考案、提案する（木村・他）
3. 2015年AGUのブース展示の機会を利用して、Communiqué に基づく JpGU Meeting 2016 の4学会会合の準備会開催を検討する（木村・他）
4. 2016年大会における10~15件程度のAGUとのJoint Session 募集をセッションごとに確認する（末廣）
5. 2016年大会のAGUとのJoint Session の優遇内容について検討する（西山）
6. 2016年大会と2016 AGU Fall Meeting のUnion Session で同じテーマの企画を行う（末廣・西山）
7. 2016年大会の若手参加者の旅費援助の対象範囲と具体案を定める（末廣TF）
8. 2016年大会（JpGU）と2017年大会（JpGU & AGU）の若手参加者の旅費援助のチャンスについて宣伝する（事務局）
9. JpGU Meeting をバイリンガル化した際の事務局負担を検討する（全員）
10. AOGS との関係を含む今後の国際対応プランを引き続き検討する（全員）
11. 2016~2018年大会の参加登録料の値上げについて、AGU とのJointのみならず、連合の国際化戦略の一環であることを認識・周知する（全員・事務局）
12. EGU とのMOU に会員価格の参加費適用の記載を理事会に依頼する（事務局）
13. JpGU-AGU Joint Meeting 2017 のTaira Prize の講演時間を確保する（事務局）
14. AGU Fellow の推薦者を各セクションプレジデントに依頼する（ウォリス）
15. AGU Fellow の推薦方策検討を顕彰委員会に依頼する（ウォリス・白井）

16. 次回 11 月後半のグローバル戦略委員会の日程調整を行う（白井）

議事録案

議題 0. 前回議事録確認

前回議事録が了承された。

議題 1. 第 2 回理事会 (7/18) 報告

浜野事務局長代理より、理事会で承認された 2016-2018 年大会参加登録料の値上げについて説明がなされた (Action Item 11)。また、2016 年大会より事前参加登録料のキャンセルが導入されることとなり、実費分を差し引き、後日返金するポリシーの説明がなされた。

現在、AGU 会員と AOGS 会員は JpGU 会員価格が適用されるが、MOU に会員価格適用の記載がない EGU 会員は、会員価格適用外となっている。そのため、グローバル戦略委員会から理事会に、EGU との MOU に会員価格適用を記載するよう依頼する (Action Item 12)。

議題 2. AGU との Joint Meeting について

1) JpGU 2017 年大会準備タスクフォース

末廣委員より、JpGU 2017 年大会準備タスクフォースの構成について説明があった。情報通信研究機構の島津氏に TF アドバイソリーに加わっていただくことになった。また、JpGU-AGU Joint Meeting 2017 において Taira Prize の講演時間を確保する (Action Item 13)。

2) 2016, 2017 の AGU とのジョイントの進捗状況

末廣委員より、西山 2016 年プログラム委員長と共に AGU との Joint Session の対応を進めていることが説明された。2015 年大会期間中に、AGU headquarters ・末広 TF チェア ・西山 2016 年プログラム委員長で打合せが行われた。その後、2015 年 6 月に末広 TF チェアが AGU 本部で打合せを行い、続いて JpGU と AGU の両プログラム委員長から両連合のセッション代表に Joint Session の企画案が配布された。2015 年 9 月から受付を開始する 2016 年大会の JpGU-AGU Joint Session の応募について、セッションごとに確認することとなった (Action Item 4)。また、Joint Session における招待講演者数などの優遇内容を検討することとなった (Action Item 5)。今後 2015 年 10 月に JpGU 側が AGU 本部を訪問する。

3) 2016 年の若手参加者への海外渡航援助について

浜野事務局長代理より、2016 年大会から学生旅費補助 150 万円（国外 10 万円 x 10 人、国内 5 万円 x 10 人）を計上することが説明され、その制度設計を TF が行うこととなった (Action Item 7)。2016 年大会の JpGU からの学生旅費補助と 2017 年大会の JpGU と AGU からの学生旅費補助について周知・宣伝することとなった (Action Item 8)。

4) AOGS への対応プラン

木村委員長より、2015年8月にシンガポールで開催された AOGS の参加報告、および JpGU ブース出展における反応が紹介された。事務局作成の JpGU と AGU の Joint のポスターに魅力的な反応を示した人が多かった一方、Joint の意義や JpGU の国際化の展望に関する質問が寄せられた。木村委員長より、個別の連携を探りながらも、AOGS を通じてアジアの様々な国と連携する戦略が提示された (Action Item 10)。津田会長と大谷委員から、AOGS におけるセクション毎の設置経緯や特性に配慮が必要との指摘がなされた。

5) AGU 2016 年プログラム委員長 D-D Rousseau 氏との打ち合わせ

末廣委員より、INQUA 2015 期間中に、西山 2016 年プログラム委員長と共に AGU 2016 年プログラム委員長 D-D Rousseau 氏と打合せを行い、2016 年大会と 2016 AGU Fall Meeting の Union Session で同じテーマの企画を行うことを確認した (Action Item 6)。

議題 3. Collaboration with American Geosciences Institute (AGI)

末廣委員より、AGI が 2015 年 11 月 20 日午前にも事務局を訪問し、学協会連合における資金調達のノウハウ等、意見交換をする予定であることが紹介された。

議題 4. Global Strategy

2016 年大会において、JpGU International Symposium の特別扱いはせず、ひとつのプログラム編成として実施する方針が提案された (Action Item 1)。また、浜野事務局長代理より、配布冊子体を 1 冊にまとめる方針が述べられた。大谷委員より、学生の国際学会参加の証拠に配慮すべきとの指摘があった。さらに、案内・看板・ポスターを含めバイリンガル化した際の、事務局負担について検討することとなった (Action Item 9)。

木村委員長より、国際科学会議 ICSU の歴史的経緯および科学の国際化について現状と戦略が述べられた。対策として、2015 年大会の Geoscience Ahead を踏襲し、JpGU Meeting の表記に続く、サブタイトル的な国際向けキャッチフレーズを考案することとなった (Action Item 2)。また、2015 AGU Fall Meeting のブース展示を利用して、Communiqué に基づく 2016 年大会の 4 学会会合の準備会開催を検討することとなった (Action Item 3)。

ウォリス副委員長より、2015 年は、日本から AGU Fellow の選出がなかったことの指摘があった。JpGU として戦略的に AGU Fellow を推薦するため、AGU International Participation Committee 委員のウォリス副委員長が、各プレジデントに AGU Fellow 候補者 1~2 名の推薦を呼び掛けることとなった (Action Item 14)。また、JpGU として、Nomination Letter のひな形等を含めたノウハウを蓄積する必要性が指摘された。本件は、その重要性を鑑み、グローバル戦略委員会から顕彰委員会に検討を依頼することとなった (Action Item 15)。

次回委員会は 2015 年 11 月後半を予定 (Action Item 16)。